

第13回

戦争の記憶と記録を語り継ぐ映画祭

題字 吉永小百合さん

戦争の記憶と記録を語り継ぐ映画祭は、毎年8月に原爆や戦争をテーマにした映画を上映し、トークショーと併せて行う映画祭です。2012年8月の開催から今年で13年目を迎えます。

今年も東京・渋谷区にある名画座シネマヴェーラさんのご厚意により共同開催させていただけることになりました。当映画祭では3作品、シネマヴェーラの内藤由美子支配人には6作品を選出させていただきました。上映作品のほとんどがビデオ・DVD化されておらず、希少な上映機会になります。さらに、内藤支配人には「家族たちの戦争」という素晴らしい副題も付けていただきました。戦争の悲惨さは戦場だけではなく、残された家族や、生き残った人々のその後にとれほど多くの影を落としたのか、戦争の被害者は誰だったのか、上映作品を通して感じていただけますと幸いです。

「戦争の記憶と記録を語り継ぐ映画祭」代表 御手洗 志帆

13回目となる本映画祭は、映画祭の趣旨にご賛同して下さった116名の個人、4社の法人の皆様のご寄付によって運営させていただいております。感謝の思いを込めて、昨年、実施したクラウドファンディングご寄付者の皆様と企業様のお名前を掲載させていただきます。

(敬称略、五十音順)



SUBARU OFFICE
すばる司法書士事務所

青田いずみ、芦口博昭、秋田清、足立美緒、吾妻真起、安積英司、五十嵐義正、五十嵐貞一、石井賢一、石園剛、井崎春江、市田真理、岩本亜希代、上松道夫、江角裕行、大木邦彰、大久保正仁、太田真梨子、大竹由希子、大谷博、大牟田聡、岡崎弥保、岡田真木子、小原浩靖、小六千恵子、小六禮次郎、金倉恵子、金田沙弥香、川村秀、木村千尋、熊谷篤、桑名智子、黒瀬克也、黒田礼子、肥塚葉、向後初美、兒島弘明、後藤和夫、小林晃、小林仁、駒林徹、近藤朋之、齊藤伊佐夫、斉藤とも子、さかい、坂口典正、坂本剛、坂下恵、佐々木浩平、佐田のぞみ、佐藤貴子、澤野重男、椎野礼仁、しげのじゅんこ、志波幹雄、下島三重子、白井京子、鈴木京子、菅原美智子、杉浦陽子、須田俊子、瀬戸口美和子、仙石敦子、大東恭子、高比良美穂、竹下香寿美、田代秀敏、立花伊津美、立花珠樹、立花泰彦、田淵京子、土屋一成、堤恵太郎、坪井亜樹、坪田佳之、土肥寿郎、直林広高、中野朝子、成田好、西東京シネマ倶楽部、西村年史、西山朋子、沼山良明、橋本、畑原照子、濱元伸夫、原きよ、原田嘉行、平岩祥史、プリンシブル、福田諭、穂積光男、堀向弘真、堀内萌奈、堀浜直美、正岡久武、松原まゆみ、松本峻平、馬淵亜希子、湊寛、毛利哲也、杜雲翼、安岡知子、安田馨、山田惣一、山本恵司、山本太郎、山本優、湯川貴正、吉岡岳、吉川望、吉村卓也、若林通江、和田光世、和田義盛



代表 御手洗志帆 支えてくれる映画祭スタッフ

来年14年目の映画祭に向けたクラウドファンディングも開始します

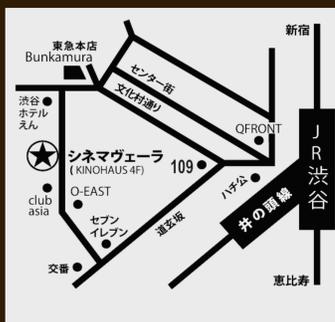
応援して下さる皆様、いつも本当にありがとうございます。
来年、2025年は戦後80年を迎えます。
本映画祭も14年目の挑戦となります。
開催にむけたクラウドファンディングを7月中旬よりスタート致します。
持続可能な開催に向けて、どうかご支援いただけますと幸いです。
よろしくお願ひ申し上げます。

<映画祭HP>



<銀行でのお振込み先>

三井住友銀行 広島支店 (605) 普通 6830407 オイカワシホ (旧姓ミタライシホ)



【開催場所】シネマヴェーラ渋谷
【日程】2024年8月10日(土)～16日(金)
【共催】戦争の記憶と記録を語り継ぐ映画祭、シネマヴェーラ渋谷

東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 4F TEL (03) 3461-7703

- 東急Bunkamura前 (松濤郵便局) 交差点を円山町方面に約50m坂を上り右側
- 渋谷マークシティ4階・道玄坂交番前交差点角のセブンイレブン横を右折し約100m
- 「戦争の記憶と記録を語り継ぐ映画祭」への問い合わせは 代表・御手洗まで mitaraiakaku@gmail.com

シネマヴェーラ渋谷
第13回 戦争の記憶と記録を語り継ぐ映画祭
共催企画

家族たちの戦争

2024/8/10 (Sat) - 16 (Fri)



幼きものは訴える ©日活

特別トークショー



映画「花物語」主演 高橋恵子さん



映画「あした輝く」原作マンガ家 里中満智子さん



映画「あした輝く」主演 浅田美代子さん



映画「失われた時の中で」監督 坂田雅子さん



書籍「不死身の特攻兵」著者 鴻上尚史さん



映画「ラストメッセージ」監督 上松道夫さん

—上映作品—

解説：若井信二/内藤由美子

幼きものは訴える



©日活

製作=日活/1955年/96分/白黒/デジタル/監督：春原政久/原作・脚本：佐治乾、八木保太郎/撮影：伊佐山三郎/音楽：斎藤一郎/美術：坂口武玄
出演：宇野重吉、安井昌二、浅丘ルリ子、河野秋武、多々良純、加藤嘉、東野英治郎、北原三枝、村瀬幸子

“戦犯の子”ゆえイジメられる兄妹と病弱な母は、伯父(宇野重吉)の家で暮らしていた。母が死ぬと祖父(加藤嘉)が兄妹を引き取りに来るが、目的は軍人恩給だった。嫌気がさした兄は浮浪児の仲間に入り、最後の救いとして北海道のトラピスト修道院を目指す。幼い兄妹の受難を描く戦災孤児残酷物語にしてロードムービー。兄が放つ戦後日本社会への痛烈な批判とショッキングなラストに呆然とせずにはいられない。

流れの譜 第一部動乱 第二部夜明け



©1974松竹株式会社

製作=松竹/1974年/170分+休憩/カラー/35mm監督：貞永方久/原作：菅忠淳/脚本：石森史郎、宮崎晃、貞永方久/撮影：坂本典隆/音楽：池野成
出演：田村高廣、司葉子、竹脇無我、近藤正臣、市川海老蔵、松坂慶子、大谷直子、島田陽子、若林豪、森田健作、若下志麻、笠智衆、田宮二郎

激動の昭和史を背景に描くエリート軍人一家の四世代に渡る叙事詩。屯田兵の祖父、陸軍中尉の父、4人の息子、戦後世代の孫たち。“お国のため”生きた者にも、反戦・革命に生きた者にも虚しさがあり後悔がある。そしてバイクに女の子を乗せて疾走するノンボリの孫に戦後日本の姿を象徴させる。豪華すぎる布陣に目も眩む大作。

あした輝く



©1974松竹株式会社

製作=松竹=芸映プロ/1974年/87分/カラー/35mm監督：山根成之/原作：里中満智子/脚本：ジェームス三木、南部英夫、山根成之/撮影：竹村博/音楽：田辺信一
出演：浅田美代子、志垣太郎、村野武範、津島恵子、沖雅也

満州・奉天で医者の一入娘・今日子は衛生兵の香と恋に落ち結婚するが、敗戦で運命は暗転。関東軍に見捨てられた民間人たちは港を目指し広大な大陸を歩いていく。その途上でソ連兵に捉えられた香を今日子は日本で待ち続ける…。原作は里中満智子(出演も!)の長編漫画。同じく劇画の映画化『同棲時代』同様、山根らしいケレン味溢れる演出もあるが、何よりも浅田の誠実な演技が単なるアイドル映画に留まらせていない。

8月10日(土)

- ①11:00～「流れの譜」
- ②14:15～「花物語」
トークゲスト・高橋恵子さん
聞き手・下村健さん
- ③17:00～「田舎刑事 第三話」
- ④18:55～「ムっちゃんの詩」
- ⑤20:55～「田舎刑事 第一話」

8月11日(日)

- ⑥11:00～「ムっちゃんの詩」
- ⑦13:00～「あした輝く」
トークゲスト・里中満智子さん
聞き手・御手洗志帆
- ⑧15:35～「花物語」
- ⑨17:30～「田舎刑事 第三話」
- ⑩19:25～「幼きものは訴える」

8月12日(月・祝)

- ⑪11:00～「幼きものは訴える」
- ⑫12:55～「あした輝く」
トークゲスト・浅田美代子さん
聞き手・立花珠樹さん
- ⑬15:30～「田舎刑事 第一話」
- ⑭17:00～「花物語」
- ⑮18:55～「流れの譜」

8月13日(火)

- ⑯11:00～「花物語」
- ⑰12:55～「田舎刑事 第三話」
- ⑱14:50～「幼きものは訴える」
- ⑲16:45～「田舎刑事 第一話」
- ⑳18:15～「ムっちゃんの詩」
- ㉑20:15～「あした輝く」

8月14日(水)

- ㉒11:00～「田舎刑事 第一話」
- ㉓12:30～「失われた時の中で」
トークゲスト・坂田雅子監督
聞き手・立花珠樹さん
- ㉔14:30～「ムっちゃんの詩」
- ㉕16:30～「幼きものは訴える」
- ㉖18:25～「あした輝く」
- ㉗20:10～「田舎刑事 第三話」

8月15日(木)

- ㉘11:00～「あした輝く」
- ㉙12:45～「流れの譜」
- ㉚16:00～「田舎刑事 第一話」
- ㉛17:30～「ラストメッセージ」
トークゲスト・鴻上尚史さん、上松道夫監督
聞き手・御手洗志帆
- ㉜20:15～「花物語」

全てトークショーは上映後

—料金—

- ・トーク付き上映②⑦⑫ 料金1800円均一 ※ポイント鑑賞不可 ※当日券のみ
- ・トーク付き上映⑳㉑ 料金1500円均一 ※ポイント鑑賞不可 ※当日券のみ
- ・「流れの譜 第一部動乱 第二部夜明け」 一般1500円 シニア1300円 会員1100円 大学・高校生900円 ※ポイント鑑賞不可 ※ポイント加算あり
- ・上記以外の一般作品 一般1300円 シニア1100円 会員900円 大学・高校生700円 ※一本立て、入れ替え制 ※当日券、現金のみ

2023年のクラウドファンディング・銀行振込等 ご寄付くださった方には主催者から鑑賞希望作品の案内をお送りいたします。

田舎刑事 第一話 時間よ、とまれ



©テレパック

製作=テレパック=テレビ朝日/1977年/72分/カラー/デジタル/演出：橋本信也/脚本：早坂暁/音楽：菅野光亮
出演：瀧美清、小林桂樹、高橋洋子、市原悦子、三谷昇、ガッツ石松、草薙幸二郎、柳川慶子

大分県で起こった一家惨殺事件が時効寸前のある日、殺人犯がテレビに映り万年平刑事・瀧美清は東京へ向かうが…。成り上がった小林桂樹、彼の昔のなじみの娼婦だった市原悦子、そして瀧美。戦争に翻弄された三人の戦後が重なり合う。早坂暁の脚本、菅野光亮の音楽も素晴らしく、何より市原の演技が圧倒的なTVドラマ史上の名作。芸術祭優秀賞受賞作で後に2時間版も作られた。

田舎刑事 第三話 まぼろしの特攻隊



©テレパック

製作=テレパック=テレビ朝日/1979年/95分/カラー/デジタル/演出：森崎東/脚本：早坂暁/撮影：小笠原滋/音楽：菅野光亮
出演：瀧美清、高峰三枝子、西村晃、宇都宮雅代、信欣三、浜村純

土曜ワイド劇場「田舎刑事」シリーズ第三話。特攻隊員が桜の木の下で女学生と交わる“マリアもの”と呼ばれるブルーフィルムを作り続ける西村晃と、その謎を追う刑事・瀧美清。戦争に憑りつかれた男を演じる西村晃(実際に特攻の生き残りだった)のベスト・アクトか。早坂暁と森崎東による超ド級の作品であり、歪んだ精神が生んだ犯罪を描いたフィルム・ノワールの傑作。

ムっちゃんの詩



©関西共同映画社

製作=関西共同映画社/1985年/102分/カラー/16mm監督：堀川弘通/原作：中尾町子/脚本：小森名津/撮影：林淳一郎
出演：磯崎亜紀子、山ノ井隆信、有川博、高林由紀子、佐藤万理、米倉斉加年

父母と弟を戦争で亡くした大分の親戚を頼った12歳のムっちゃん。生き残った従姉とめぐり合うも結核に罹患し…。従姉が勤める女郎屋の女将に追い出され、防空壕(洞窟)で暮らすムっちゃんは強制徴兵された朝鮮人(米倉斉加年)と交流を持つ。米倉の「同胞を見捨てる日本人は何だ!」という慟哭が胸に刺さる。力なく「戦争のせいだ…」と呟く“普通の日本人”が本当に恐ろしい実話をもとにした作品。

8月16日(金)

- ⑳11:00～「田舎刑事 第三話」
- ㉑12:55～「幼きものは訴える」
- ㉒14:50～「流れの譜」
- ㉓18:05～「花物語」
- ㉔20:00～「ムっちゃんの詩」

花物語



©KADOKAWA1989

製作=大映=大映映像=千葉県映画センター=埼玉映画文化協会=大阪映画センター/1989年/95分/カラー/35mm監督：堀川弘通/原作：田宮虎彦/脚本：小森名津/撮影：丸池納
出演：高橋恵子、藤原亮、菊池彩美、石橋蓮司、杉山とく子、佐々木すみ江、八神徳幸、山本清美、殿山泰司、蟹江敬三

大戦末期の深刻な食料難の中で出された「花栽培禁止令」に抗って房総で花を作り続けるハマは、“非国民”と陰口をたたかれるが…。頑なに花作りに拘るハマ役の高橋恵子、船を接収された漁師の夫役の蟹江、その親友で傷痍軍人の石橋、これが最後の出演作となった殿山泰司と演技派が揃った一作。禁止令では花が抜かれるだけでなく種は捨てられ球根は踏み潰されたという。

ラストメッセージ ～”不死身の特攻兵”佐々木友次伍長～



2021年/98分/カラー/デジタル/監督：上松道夫/制作補：御手洗志帆/撮影：那須雅人、濱野実、安達真、上松道夫、御手洗志帆/音声：阿部裕司、松澤聡
ナレーション：徳重聡、星野知子

上官の命令が絶対とされた戦時下で「死んで来い」と9回“特攻出撃”を命じられ、9回とも生還した兵士がいた。佐々木友次伍長21歳。陸軍最初の特攻隊「万葉隊」操縦士。二度も敵艦船に「突入」「戦死」と報じられ、「軍神」扱いされたが、奇跡的に生還した。「十死零生」の特攻攻撃から、佐々木伍長はなぜ生還できたのか? 死の半年前、本人が病床で自らの特攻体験と意思を語った、まさに「遺言」ともいえるドキュメンタリー。

失われた時の中で



©Greg Davis

2022年/60分/カラー/デジタル/監督・撮影：坂田雅子/撮影：ティディエ・ファンタン、シルビー・ジャックマン、ナガヌマ・ヒカリ/構成：編集：大重裕二/音楽：難波正司/協力：ジャン・ユンカーマン、VAVA ベトナム枯葉剤被害者の会

亡くなった夫の死は「枯葉剤」の影響ではないか。その思いからカメラを手に2004年にベトナムを訪れた坂田雅子。そこから約20年、取材し続けた集大成の1本。経済発展の中、取り残されている枯葉剤被害者たちの現状、軍需産業の跳梁、環境汚染、ヤングケアラー…。日本も抱える様々な問題を照射する。被害者を支える家族の愛情とあきらめない姿、それを捉える坂田のあたたかい眼差しと持続する意志にも感動。



8/10 映画「花物語」主演 高橋恵子さん



8/11 映画「あした輝く」原作マンガ家 里中満智子さん



8/12 映画「あした輝く」主演 浅田美代子さん



8/14 映画「失われた時の中で」監督 坂田雅子さん



8/15 書籍「不死身の特攻兵」著者 鴻上尚史さん



8/15 映画「ラストメッセージ」監督 上松道夫さん



8/12,14 聞き手 立花珠樹さん (共同通信社編集委員)



8/11,15聞き手 御手洗志帆 (主催者)

戦場の人々、銃後の人々、敗戦後に行き場を失った人々、トラウマに苦しむ人々。本当の被害者とは誰なのか――

「家族たちの戦争」をテーマに9本の映画を上映します。